



★紙は、水にぬらした植物繊維を重ねて乾かすとそのままくっついてしまい、それをまた水にぬらすと離れてもとに戻るといふ植物繊維の力を利用して作られています。効率よくリサイクルするためにも、きちんと分別した後は、次のことを守って「資源ステーション」に排出しましょう。

ミックスペーパーお約束

1 ヒモで十字にしぼるか、紙袋に入れて出してください。



2 資源化が出来なくなるため、雨の日には出さないでください。

3 付属されている次のような紙以外の物は取り除いてください。

- 例) ・ティッシュ箱取り出し口のビニール
- ・ハガキや封筒に貼られたシール
- ・窓付き封筒のプラスチックフィルム
- ・ファイル、カレンダーの金属やプラスチック
- ・紙や箱に貼られた粘着テープ



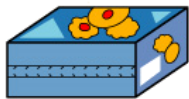
雨の日には出さないで下さい。



葉山町環境課

○ミックスペーパーになる紙○

～週1回 資源ステーションへ～



お菓子の箱



トイレットペーパーなどの芯



カタログ・パンフレット



封筒・はがき
(シール・プラスチックフィルムは取り除く)



シュレッダーした紙



ノート



ビールの梱包紙



カレンダー
(金属・プラスチック部分は取り除く)



洋服のタグ



ティッシュペーパーの箱
(ビニール部分は取り除く)

×ミックスペーパーにならない紙×

→「燃やすごみ」へ ～週2回 戸別収集～

— 防水加工されているから水に溶けない —



紙皿・紙コップ・容器など

— 緩衝材 (クッション) 入り —



緩衝材 (クッション) つき
段ボールや封筒

— インクがたくさん —



レシート



写真



伝票などの複写紙

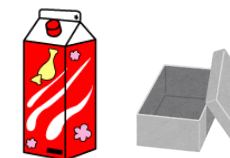
— においや汚れのついた紙 —



洗剤・せっけん・線香の箱など



食品がついた紙



内側が銀色の
紙パックや段ボール箱

— 複合素材紙 —

ミックスペーパーって？

「新聞」「雑誌」「ダンボール」「紙パック」以外の紙で、水に溶ける紙です。紙原料としてリサイクルしています。

これらが混入すると...

防水加工された紙や、感熱紙、においのついた紙などが混ざっていると、紙原料としてリサイクルするうえで支障がでるため、これらは「燃やすごみ」として分別します。